

第30回防災まちづくり大賞受賞団体の決定

総務省消防庁地域防災室

「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、今回で30回目を迎えました。地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

今回は全国各地から100事例の応募があり、学識経験者等で構成される選定会議において、他の地域の模範となる優れた19事例が選定されました。

受賞事例数

応募総数		100
表彰区分	総務大臣賞	3
	消防庁長官賞	5
	日本防火・防災協会会長賞	11
受賞事例総数		19



防災まちづくり大賞シンボルマーク

災害による被害を軽減するためには、地

域の防災力を強化すること、とりわけ地域の方々の「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い意識と連帯感に支えられた自主的な防災活動を推進していただくことが重要です。

平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、住民、自主防災組織、消防団、地方公共団体、国等の多様な主体が、相互に連携協力して、地域防災力を高めていくことの重要性が示されました。

受賞団体の皆様には、今回の受賞を契機として、より一層日頃からの活動を充実・発展させ、引き続き、地域防災力の向上にご尽力いただくことを期待しています。

〈総務大臣賞受賞事例の紹介〉

今回、総務大臣賞を受賞された3事例の取組を紹介します。

- 団体名：釧路市防火管理者連絡協議会
- 事例名：遊んで学ぶ！命を守る「くしろ防火・防災かるた」
- 所在地：北海道釧路市

【団体概要】

釧路市内のさまざまな業種の職場で防火管理に携わる防火管理者によって構成された団体です。事業所における防火管理体制の向上や会員相互の情報共有を図りながら、火災を未然に防ぎ、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的に活

動しています。

地域社会の一員として消防や関係団体と連携し、防火・防災の大切さを地域に伝える取組を継続しています。

【背景】

昭和55年から「くしろ防火かるた」を活用し、楽しみながら火災予防を学ぶ取組を長年にわたり続けてきました。遊びを通して学べる教材として長年親しまれ、学校や地域行事で幅広く活用されています。

かるたを経験した子どもが大人となり、家庭で防火の大切さを伝える広がりも生まれ、世代を超えて防火意識が着実に受け継がれています。

近年は地震や大雨などの自然災害が増え、火災に限らない防災への備えの重要性が一層高まっています。

【取組の内容】

教育委員会や小学校、高校、消防本部と連携し、市内の小学3、4年生から防火・防災標語を募集しました。子どもたちが日常生活の中で感じた危険や備えの大切さを表現した作品の中から選定し、高校の美術部がイラストを描いて「くしろ防火・防災かるた」を制作し、世代をつなぐ協働の取組となりました。

完成したかるたは、釧路市家庭防災推進員連絡協議会が主催する小学生のかるた大会で活用され、遊びながら学ぶ機会が広がっています。

【成果】

防火・防災は「知識」ではなく、まず自分の命を守る行動であるという認識が地域に着実に広がりつつあります。地域の子どもたちが自ら創った教材で学ぶことで主体的に考える姿勢が生まれ、実践へと結びつく知識と意識の定着につながっています。

毎年開催される防火・防災かるた大会を通じて参加型の防災教育が継続され、その広がりが家庭や地域へと波及しています。

幅広い世代が日頃の備えを見直す機会となっており、地域に根ざした活動として他地域にも応用可能な取組へと発展しています。



小学生かるた大会

- 団体名：一般社団法人 奏の杜パートナーズ・三菱地所グループの防災倶楽部
- 事例名：津田沼奏の杜エリアでの地域防災
～約8,600人を対象に住民・企業・行政等が協働～
- 所在地：千葉県習志野市

【団体概要】

「一般社団法人 奏の杜パートナーズ」

奏の杜エリア全体の町内会機能を内包するエリアマネジメント法人（会員数約1,900世帯）。環境景観の維持向上、防犯・防災、地域コミュニティの活性化を担う組織です。

「三菱地所グループの防災倶楽部」

三菱地所レジデンスと三菱地所コミュニティの社員有志、約170名で活動している組織です。平成26年10月の発足以来、マンション管理組合等に対し、被災生活までを

想定した実践的な防災訓練をサポートしています。

【背景】

奏の杜は千葉県習志野市津田沼駅南側に位置し、土地区画整理事業によって整備され平成25年にまち開きをした約35haの新しいまちです。

被災地で「地域の人たちで助け合いながら被災生活の困難を乗り越えてきた」ことを教わり、災害時にはマンション単体ではなく、「まち全体で助け合う」ことが重要だと感じたことをきっかけに、平成27年から取り組んでいます。

【取組の内容】

ザ・パークハウス 津田沼奏の杜（721戸）から始まった防災訓練は、同エリアの三菱地所レジデンスが分譲したマンションに広がり、エリアマネジメント組織「奏の杜パートナーズ」との連携により、周辺の戸建や他社分譲マンションも協働し、現在では奏の杜エリアの約8,600人を対象としたまち全体の防災訓練に広がりました。

さらに習志野市自主防災組織への声掛けや習志野市内掲示板の活用も行い、近隣地域にも広く発信をしました。

【成果】

約10年にわたり継続してきた防災訓練の積み重ねにより、近隣マンションとの連携が根付き、大型の台風時には無線機を用いた情報共有を行うなど、協力体制が確立されています。

また、長年取り組んできたノウハウを奏の杜以外の地域にも共有し、防災力を広げています。そして、「人と人とのつながりが災害時の助け合いに活かされる」と考え、日常のコミュニティ形成にも積極的に取り組み、平常時から地域内の関係性を深

めることで、災害時にも円滑に連携できる体制づくりを進めています。



約8,600人を対象にした
津田沼奏の杜エリア防災訓練

■団体名：徳島県立阿南光高等学校
防災士の会

■事例名：小学生・高校生・地域が一体
となって取り組む「防災ガー
デン」を通じた避難所での
「食」に焦点をあてた災害避
難者支援活動

■所在地：徳島県阿南市

【団体概要】

防災士の資格を持つ生徒を中心に全員が環境問題に取り組む「緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム」に所属しています。

校内に、災害時に新鮮野菜を提供する「防災ガーデン」を設置し地域防災に貢献するとともに、東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市での復興防災活動に取り組む高校生有志の団体です。

その活動は東京五輪・パラリンピックへの参画をはじめ、2025大阪関西万博のサプライヤーとして国際博覧会の開催に寄与するなど、地域課題の解決に取り組んでいます。

【背景】

東日本大震災や能登半島地震の避難所で

の「食」の聞き取り調査から、野菜不足による健康への課題が明らかになりました。

そこで、避難時の「食」に焦点を当て、新鮮野菜を提供する支援の在り方を検討。地域の保育園・小学校・高校が校種間の垣根を越えて地域と協働し、災害避難所である校内に新鮮野菜を提供する「防災ガーデン」を設置し、その解決に取り組んでいます。

【取組の内容】

私たちの目指す防災まちづくりは、東日本大震災での復興支援活動を通して、災害時でも「衣・食・住が足りることが幸せである」という考えに基づいています。

そこで、避難所でも日常生活に近い「食」に焦点をあてた支援が重要であると考えました。

だれ一人取り残さない「災害を迎え撃つ備えの一步」として、園児・小学生・高校生さらには地域と一体となり、「食」に焦点をあてた災害避難者支援活動を展開し、「毎日が防災の日」を合言葉に活動しています。

【成果】

「災害を迎え撃つ防災人材の育成」に向けた先導的な事例として、全国へ発信しています。

その運営は、地域を支える防災人材がつながり支え合い災害に立ち向かう「地域コ



災害時に新鮮野菜を提供する「防災ガーデン」

ミュニティ防災」の未来の姿であり、人のために役立つ意識が生まれる社会を育む人間形成にも大いに寄与しています。

私たちは「災害に立ち向かい災害を迎え撃つ防災まちづくり」を通じて、地域の発展と防災の人材育成に貢献しています。

〈第30回防災まちづくり大賞受賞団体〉

〈総務大臣賞受賞団体〉

- ・釧路市防火管理者連絡協議会（北海道釧路市）
- ・一般社団法人 奏の杜パートナーズ・三菱地所グループの防災倶楽部（千葉県習志野市）
- ・徳島県立阿南光高等学校 防災士の会（徳島県阿南市）

〈消防庁長官賞受賞団体〉

- ・千葉県立香取特別支援学校（千葉県神崎町）
- ・隅西災害時サポート隊（東京都墨田区）
- ・燕市児童研修館「こどもの森」（新潟県燕市）
- ・三河湾明海地区産業基地運営自治会（愛知県豊橋市）
- ・高知防災プロジェクト（高知県高知市）

〈日本防火・防災協会会長賞受賞団体〉

- ・一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと（青森県青森市）
- ・一般社団法人 日本消防防災 UNITE 機構（千葉県千葉市）
- ・アリーナコスト管理組合 防災委員会（東京都江戸川区）
- ・リムザ自治会（東京都府中市）
- ・防災塾・だるま（神奈川県横浜市）
- ・NPO法人かながわ311ネットワーク（神奈川県横浜市）
- ・大八まちづくり協議会（岐阜県高山市）
- ・玉城町防災ボランティア（三重県玉城町）
- ・株式会社白獅子（岡山県岡山市）
- ・松山防災リーダー育成センター・松山市（愛媛県松山市）
- ・大分県ドローン協議会 防災・減災分科会（大分県大分市）

第30回防災まちづくり大賞受賞団体の活動内容が掲載された事例集は、4月中旬頃、総務省消防庁ホームページの「防災まちづくり大賞」のページに掲載する予定です。

<https://www.fdma.go.jp/mission/bousai/ikusei/ikusei002.html>

■問合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 地域防災室
TEL:03-5253-7561